犬の草紙

廿三、廿四篇

Gôkan:(No. 015)
Inu no Sôshi.
Part. 4. Book 23-30.

へ13
3667
15

仙果鈔錄

八犬傳犬草紙

九二編上

鶴吉版

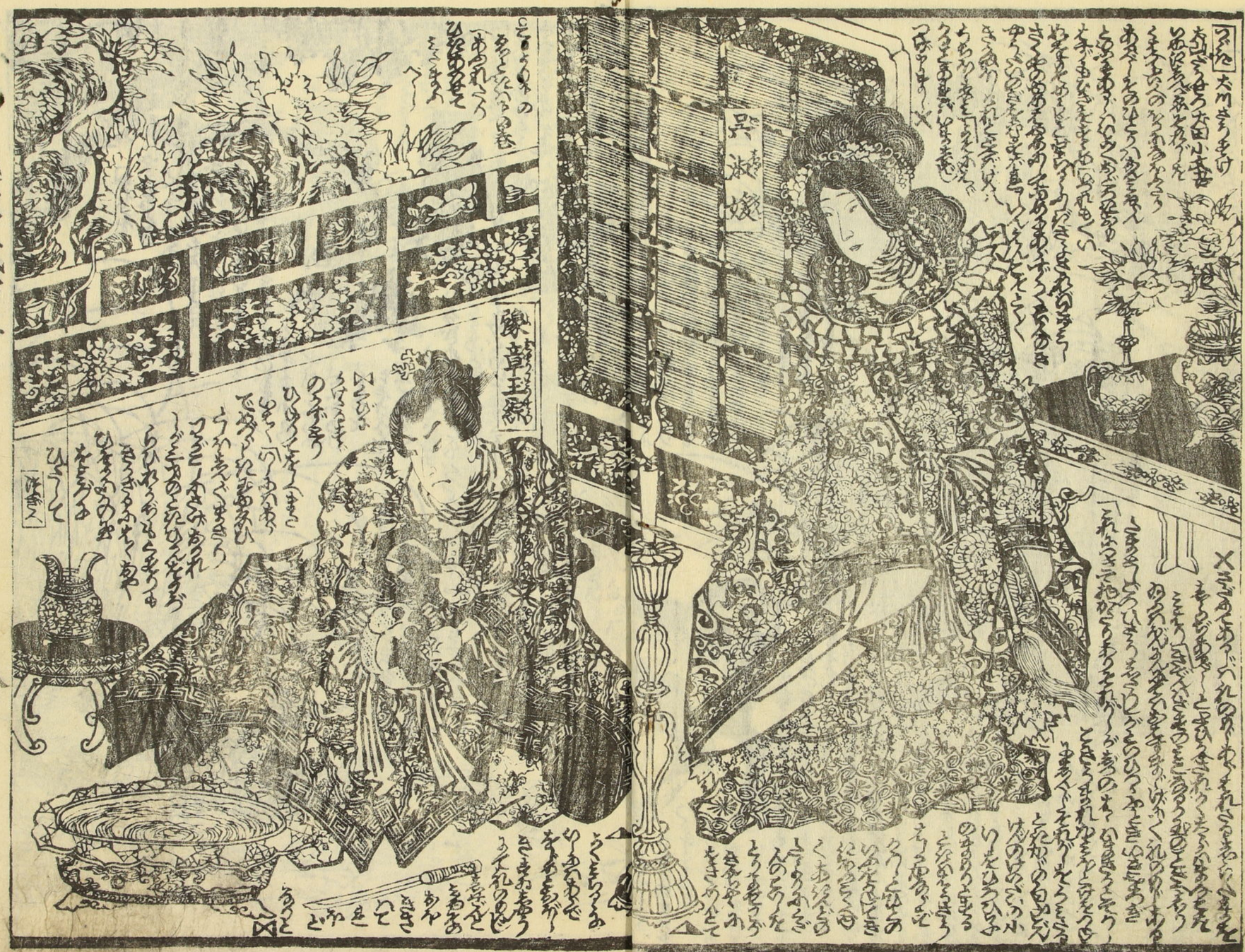
門入13
號3667
冊15

大義
御道
大巴
礼儀を
道すがら
庚申山の
再
名どころ
さぞ
世立場の
山祇地霊
化現の
恩を
謝す

角

角
雛
玄

角
玄


呉越嬢
像章玉緒

王少武

水戸家
實母散
婦人ちのこと
切のおもと
中播
南傳馬町二丁目東側
千葉堂孝浦製

御免痲積湯
せんきの粉末
御用藥所
信州上田寺山堂製
おぢろい
中播南傳馬町二丁目
萬屋吉藏

毎ろん
えりろい
もろ川ちり紙
袋
四十八銅
御葉
おぢろい
白美茗
一包
三十六文
むしろい
あぐろい
そくろ香
一包
廿四文
同房
ゆまり
曙乃冨士
一包
代銭

外題曲亭馬琴
九三編下
國貞画

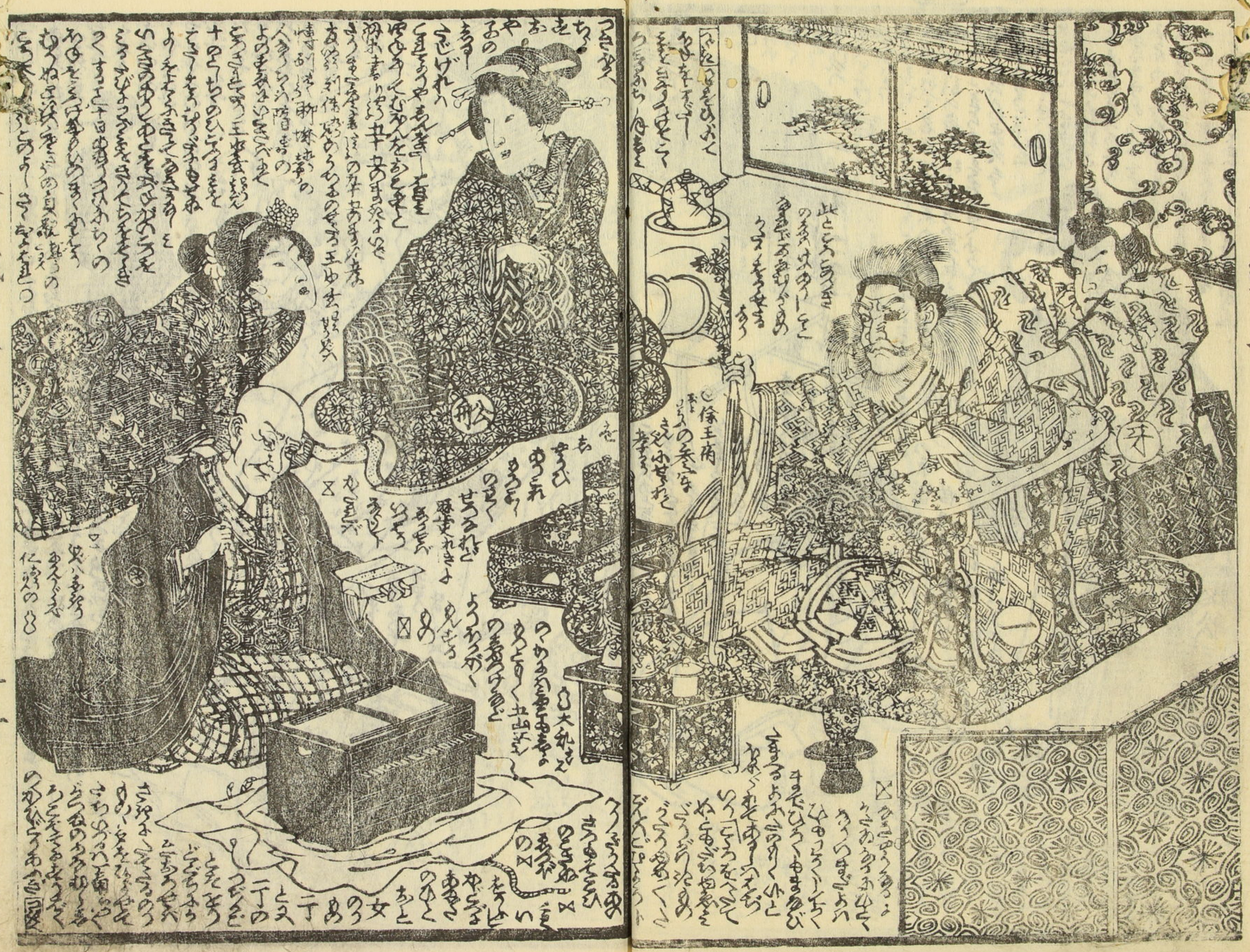
天の川

仰之澤

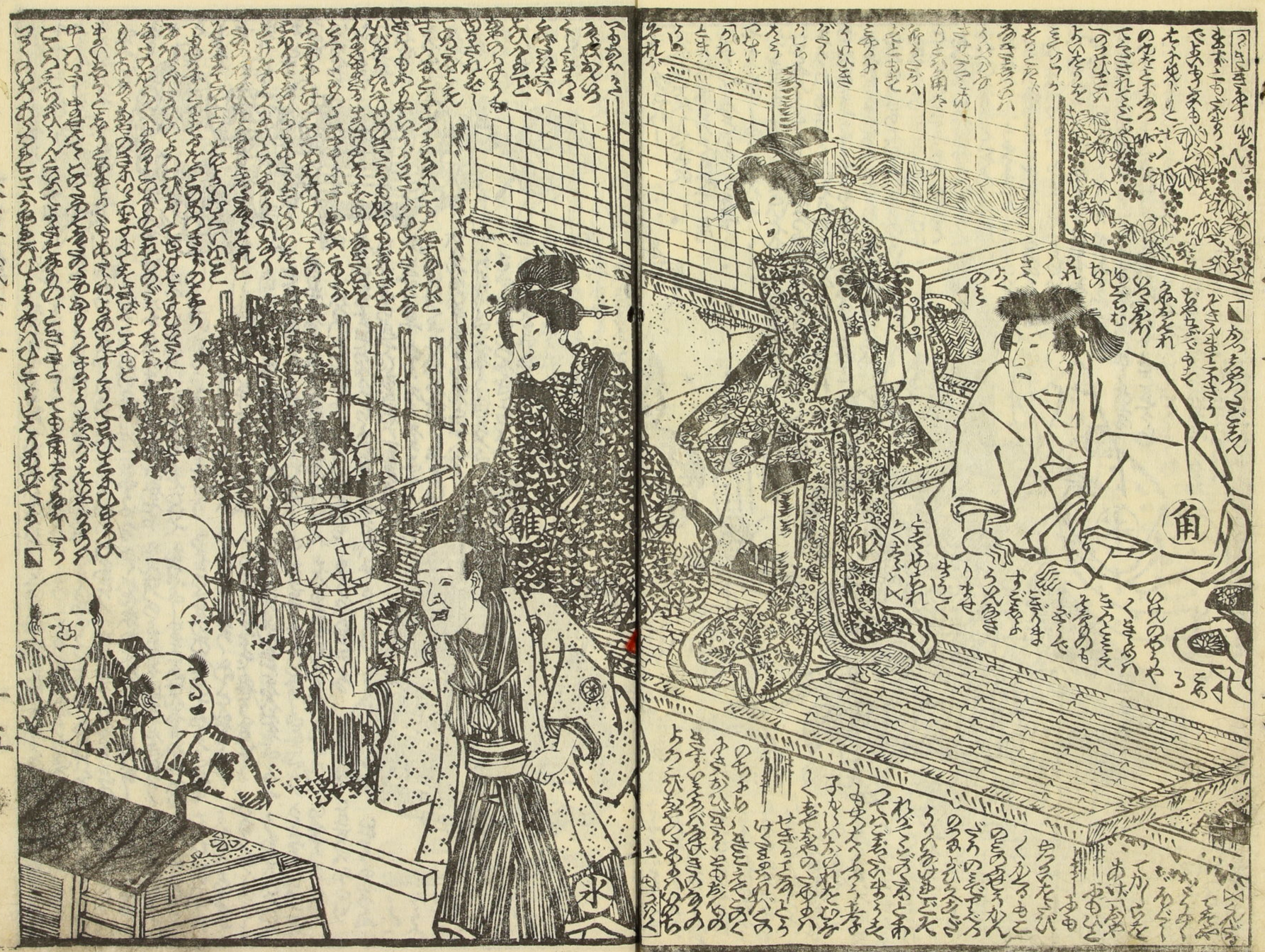
東水

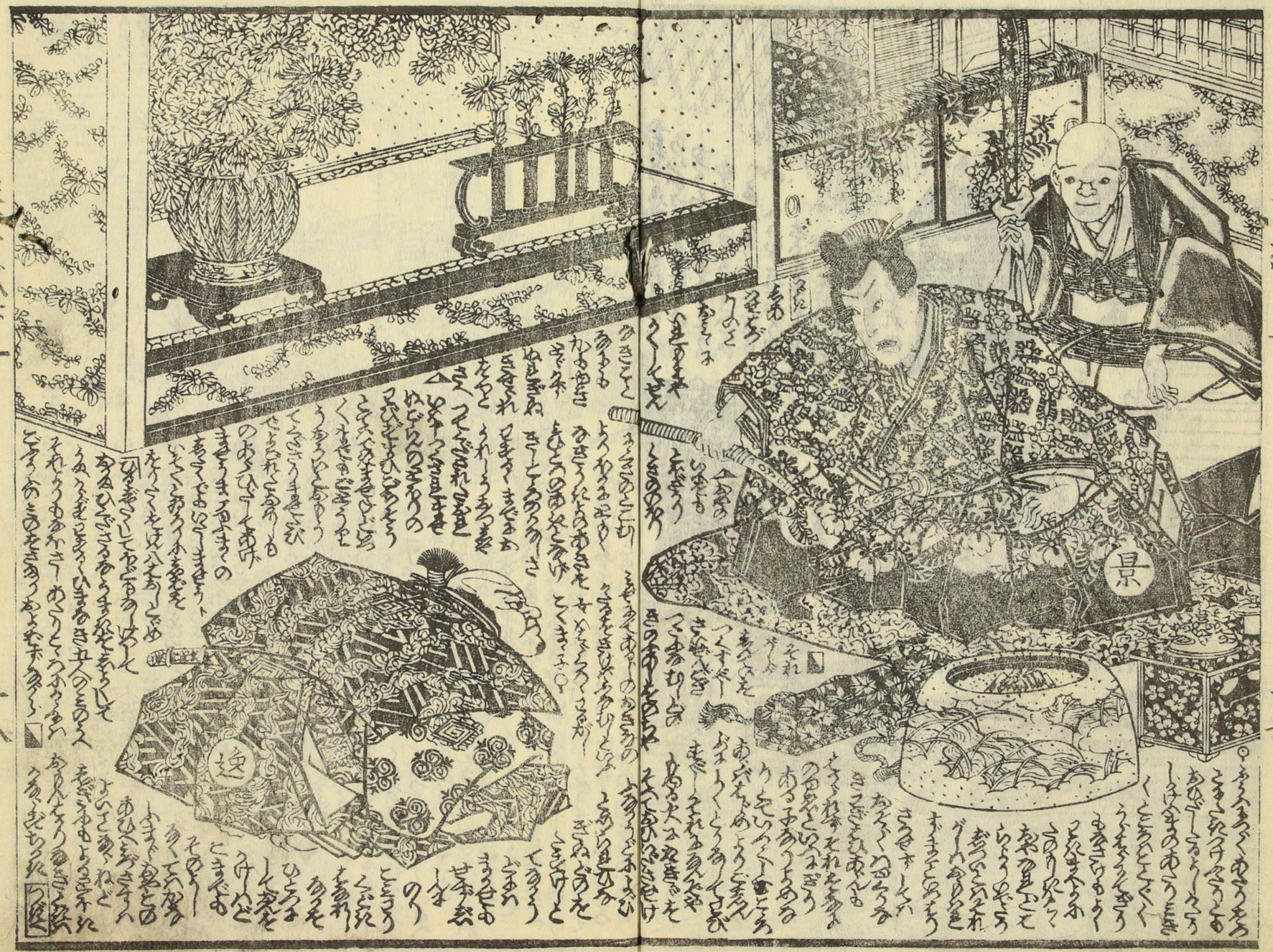
赤三編

ゆる まんん



坂
船
角
雛
水


角
雑
氷


景
逸

仙果鈔録

國政改 國貞画

嘉永五壬子春新鐫目録

大晦日曙草紙 七編 京山作 大晦日曙草紙 七編 國政画

新敵甲斐物語 六編 一九作 七編 國輝画

一名 犬傳 犬の草紙 七編 仙果録 塩屋文正 古今草紙合 七編 仙果作 八編 國輝画

御贄美少年始 六編 一九録 七編 國輝画

連理翠山雑奇縁 初編 西馬補 二編 國政画

俠客傳仙摸略記 六編 西馬譯 八編 國輝画

富士額天人松七 二冊 仙果作 芳虎画

嶋巡浪間朝日祭 三編 種員譯 四編 國輝画

春柳錦花四 三編 一九録 四編 國輝画

府紙御江戸繪圖 大春畫 六枚つゞき

大日本國郡實地全圖 全 六枚はぎ

地本錦繪 東都南傳馬町二丁目 蔦屋吉藏

八犬傳太之艸帋

九四編上

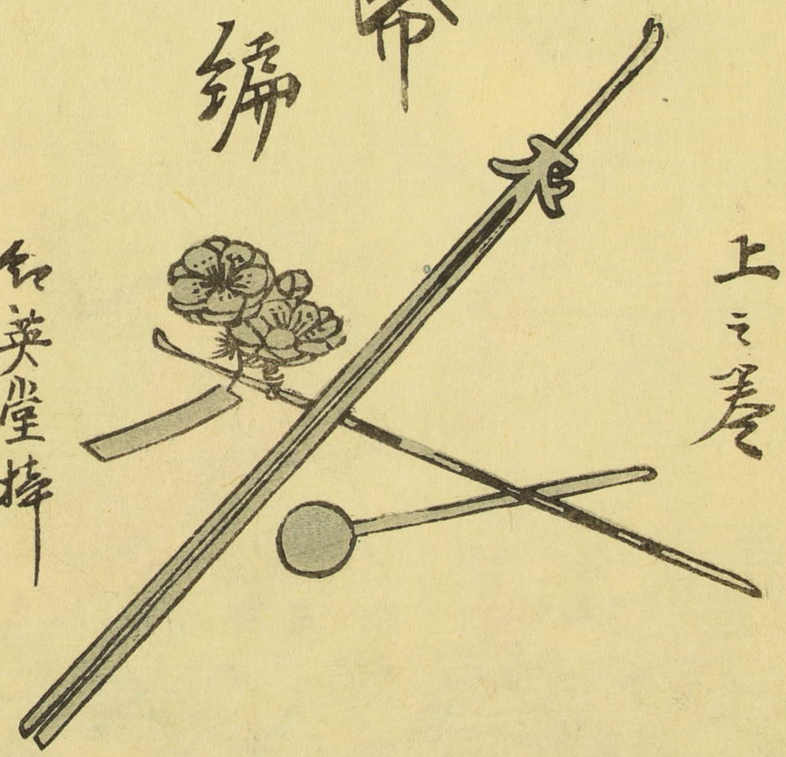
雪橋ゝ芽譚

たゝ双帝

廿四編

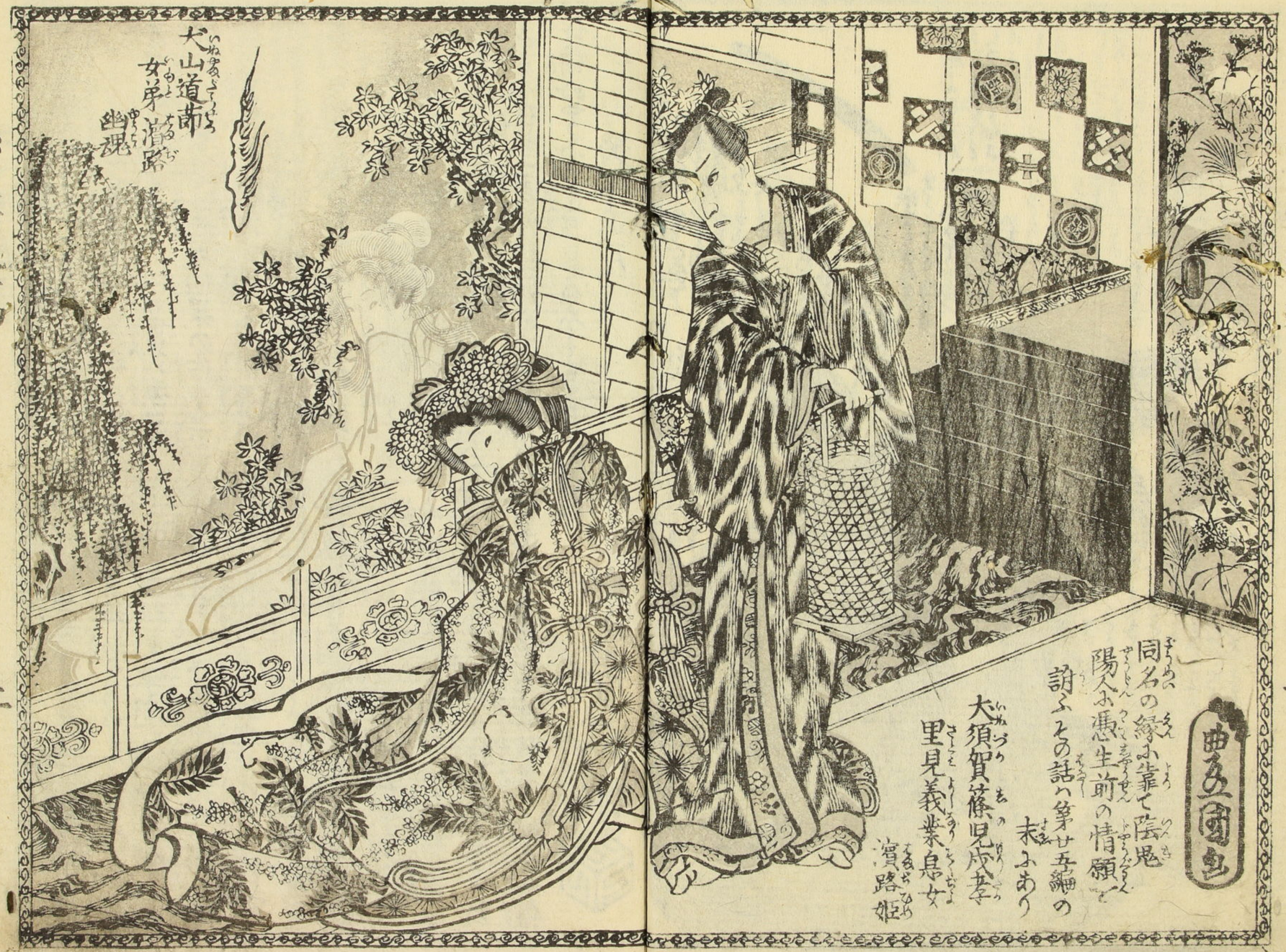
仙果訳

國貞画



上ゝ巻

和英堂梓

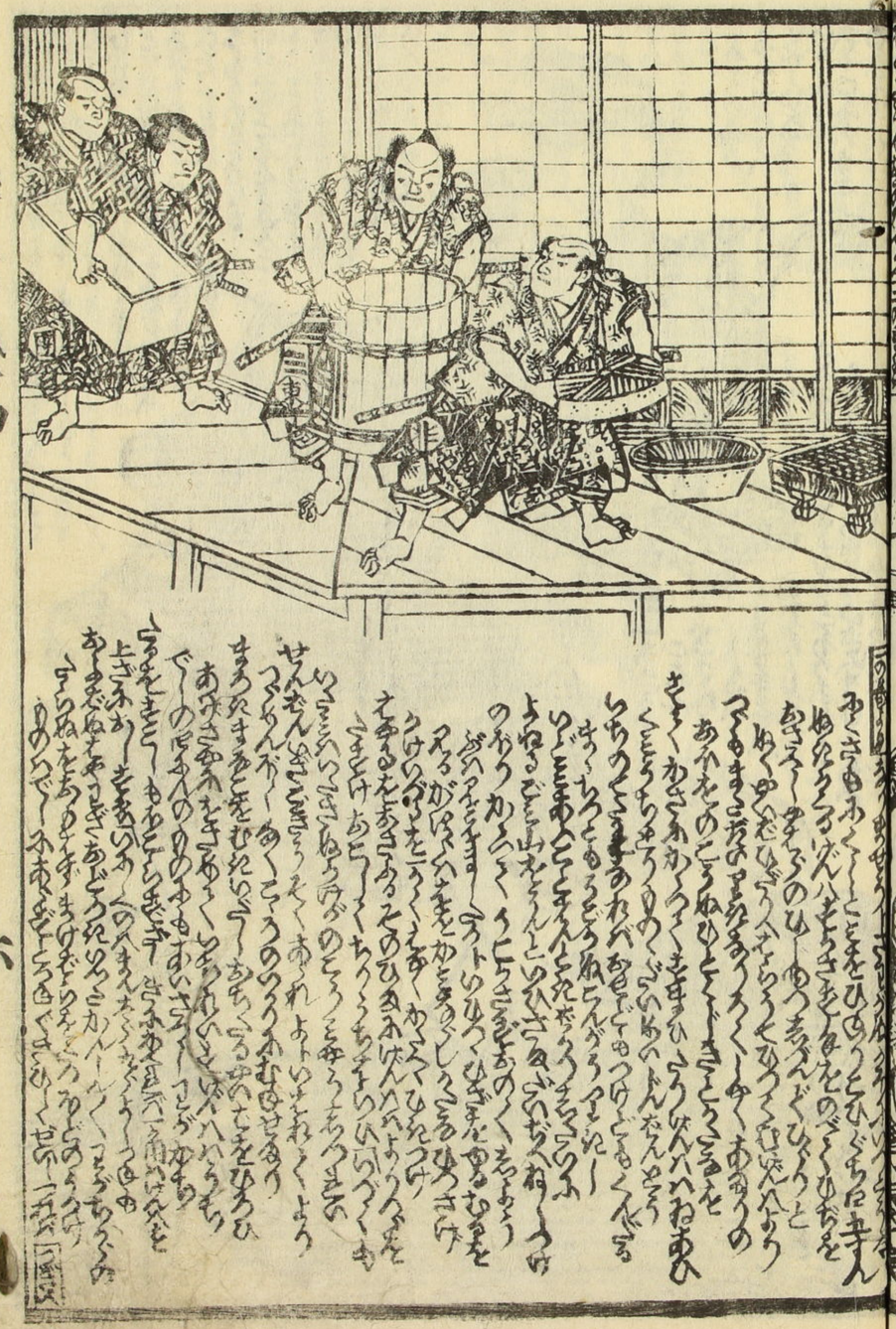

犬山道節
女房濱路
幽魂
曲亭馬琴
同名の縁ふ靠て陰鬼
陽人ふ憑生前の情願て
訪ふその話い第廿五編の
末ふあり
大須賀篠児成孝
里見義業息女
濱路姫

狗廿四編附言又〳〵とも同じく練言かまとご鈔録物程張合のるゝ著作ハ有べうべ
其さ人々張合て書のも豊けゝ御代の餘澤且ハ繪草紙繁昌のゑゝらゝもる処と
思ハい心肝ふ徹〳〵て辱〳〵扨も世界ハ曠けまゞ原傳を看ぬ童稚達ハ鈔録と作との
差別もたどりで此狗も仙果の作ゝと万一思錯ぬゞ實ハ無実の濡衣うれど濡手で
栗の霑ふ〳〵七口を濡す助とのる其辱さハ又〳〵抑戯作者も文人の端林先輩の編述を
抜書〳〵く作名記ふ餅りふ拙〳〵此ハ學者の真似り〳〵て恥て止ゝと今も猶竟見せらゝ
明友もなまゞど作のゝさふ古書も折々讀とうすれど學者の真似ハゝゝも出来ず若戯
作者ふ〳〵く學者ふ〳〵寅申山の山猫とふ〳〵く一旦ハ人間ふ交り愚人ふ尊敬せらるとも
遂ふ尾を出し身とも毀ハ物笑の種ふ〳〵く〳〵唯猫ハ猫の境界を樂〳〵牡丹ふ眠り
蝶ふ戯ま戯作者ハ戯作者の本意と失ゞ縦聊化ゝとも牺の手拭ふ厚顔皮弦
裏夏も夜並ふ玉の汗絞の浴衣で猫踊他の丹誠の膏をゝあゝても番数書て問屋の催
促請ぬふふと出情のせゝ〳〵きりのふゝむ

癸丑正月

笠亭仙果

非
東



玄
白井権八
十人内

壽齋國貞画　笠亭仙果鈔録

家實丸散

中橋
南傳馬町二丁目東側　千葉堂孝輔製

御用藥所　信州上田東山堂製

御免疳積湯　せんきくつふう

せんきの粉末

一包　四十八文
一包　九四文

大日本國郡輿地全圖　大奉書六枚継　府郷御江戸繪圖　同断六枚継

はおりうら　せんきの葉　取次所　繪草紙問屋　江戸南傳馬町二丁目　萬屋吉藏

國貞画圖

仙果劍錄

九四編下

仇題曲五國名

蔦吉板

だみ

水口傳

下の巻

仙果澤國画

はるなたん

角
雑

角

逸
子

角
牙

角
雉
松

角
松
雄
一
牙

松
角
牙

角
牙
弦

嘉永六癸丑春新鐫目錄

大晦日曙草紙 十九編 京山作 北編 芳綱画

連理翅山雞奇縁 西馬譯 四編 芳綱画

八犬傳犬の草紙 十四編 仙果錄 三編 豊国画 國貞画

松浦船水楫婦言 初 仙果錄 二 三 國芳画

御贄美少年始 八編 九錄 九編 國綱画

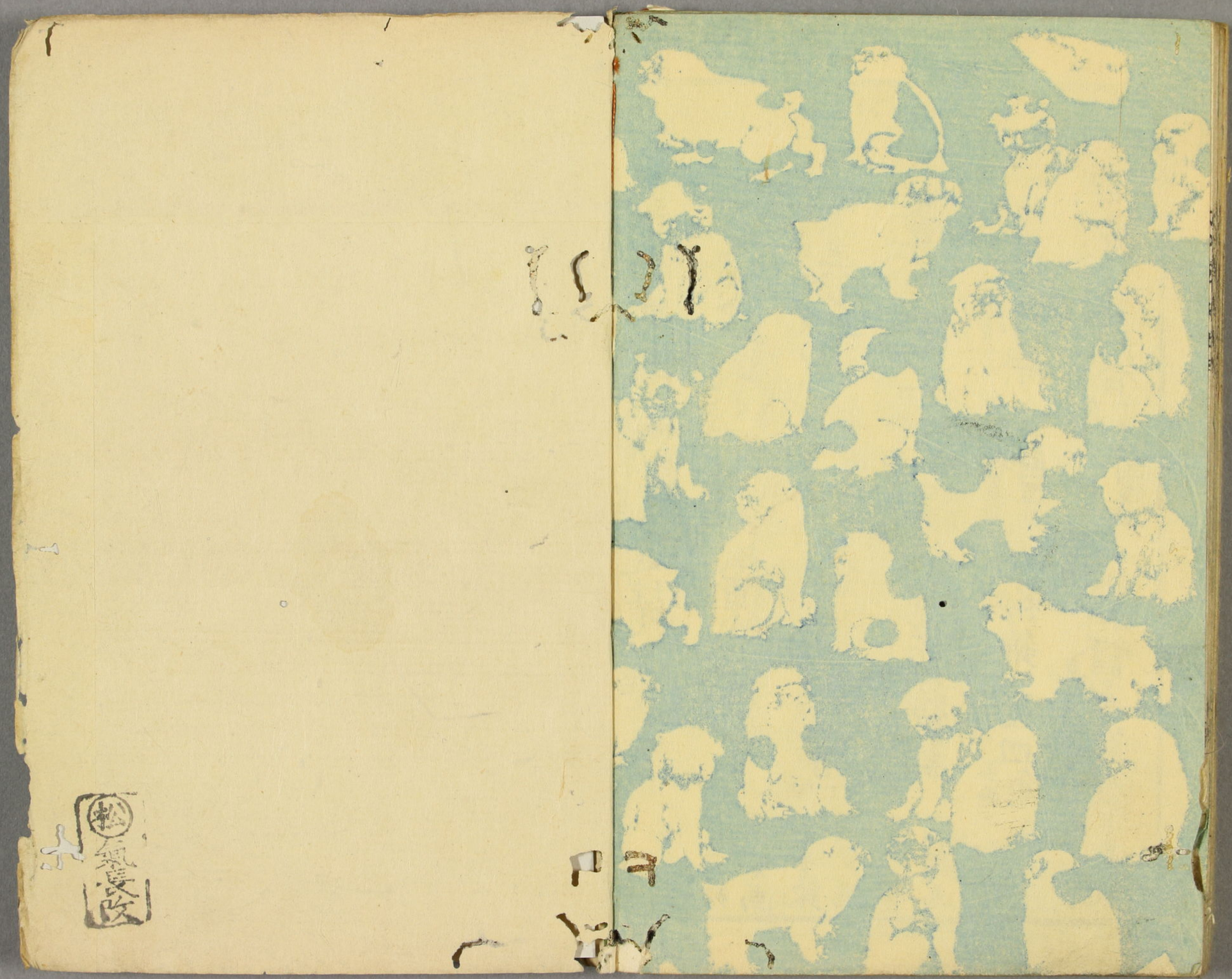
八重撫子累物語 初 仙果錄 二 三 國貞画

俠客傳小摸略記 八編 九編 十編 西馬譯 國輝画 國綱画

花蓑笠梅雅物語 初 西馬譯 二 三 國輝画

嶋巡浪間朝景 五編 六編 種員譯 國輝画

春柳錦花四 五編 一九錄 大尾 芳綱画

文正 臺屋古今草紙合 九編 十編 仙果作 国輝画

地本錦繪問屋 東都南傳馬町一丁目 蔦屋吉藏板